

## 旭川市広報広聴推進懇談会（令和2年度第1回）会議録

会議の概要	
日時	令和2年8月31日（月） 午後7時から午後8時まで
場所	旭川市職員会館3階 6号室
出席者 （参加者）	10名 岡田政勝，栗谷川拓巳，塩尻曜子，日永教優，皆川克己，安岡理沙 やまだめい，若林彩，若林美由紀，渡辺直行
出席者 （事務局）	7名 （総合政策部）佐藤部長 （広報広聴課）杉山課長，安富課長補佐 （広報広聴課広報係）阿部主査，村田，吉野 （広報広聴課広聴係）田代係長
会議の公開・非公開	公開
傍聴者	なし
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 旭川市広報広聴推進懇談会開催要綱</li> <li>・資料2 参加者名簿</li> <li>・資料3 参加者座席表</li> <li>・資料4 旭川市広報広聴推進懇談会開催予定</li> <li>・資料5 会議の公開に関する取扱い（案）</li> <li>・資料6 マイナンバー及び本人確認書類の提出（お願い）</li> <li>・資料7 新・旭川広報広聴戦略プラン【改訂版】概要</li> <li>・資料8 新・旭川広報広聴戦略プラン【改訂版】本文</li> <li>・資料9 【課題】若い世代を対象とした情報発信及び情報収集</li> <li>・資料10 本誌SNS登録者に対する実態調査実施要領</li> </ul>

### 1 開会

#### (1) 挨拶

（総合政策部長）

- ・日頃から広報広聴推進活動に御協力を賜り，厚く御礼申し上げます。
- ・この懇談会では，いろいろな御意見をいただき，事業に反映し，広報広聴活動を進めてきている。  
これまでも御意見をいただいているが，常に市政全体の動きを意識し，市民の立場に立って，市の情報の発信等を進めていきたいと考えている。
- ・皆様の様々な御意見を真摯に受け止めていきたいと考えているので，忌憚のない御意見をいただきたい。

#### (2) 参加者確認

#### (3) 資料確認

(4) 今年度の開催予定

## 2 議事

### (1) 議題1 「進行役選出」

(事務局)

- ・本懇談会の進行役の選出について、事務局では、資料1の要綱第4条の規定に基づき、あさひかわ創造都市推進協議会の渡辺さんをお願いしたいと考えている。
- ・異議がないため渡辺さんを選出する。  
これからの議事進行をお願いします。

(進行役)

- ・それでは、議事を進行する。

### (2) 議題2 「会議の公開に関する取扱いについて」

(進行役)

- ・議題2 会議の公開に関する取扱いについて、事務局から説明する。

(事務局)

資料5「会議の公開に関する取扱い」について説明。

- ・会議は傍聴を認め、公開で行うこととし、市のホームページ等により、あらかじめ会議の開催を公表する。
- ・傍聴者の定員は原則として5名とし、定員を超えるときは先着順に決定する。
- ・会議録は要点記録とし、発言者の氏名は記載しないこととする。
- ・会議録の内容は確認を得た上で、市のホームページ等で公表する。

(進行役)

- ・事務局からの説明等を踏まえて、御意見、疑問点ないか。

### (3) 議題3 「新・旭川市広報広聴戦略プラン【改訂版】について」

(進行役)

- ・次に、議題3 新・旭川市広報広聴戦略プラン【改訂版】について、事務局から説明する。

(事務局)

資料7「新・旭川市広報広聴戦略プラン【改訂版】」について説明。

- ・基本戦略1 市民とのコミュニケーション強化
- ・基本戦略2 旭川ブランドの発信力強化
- ・基本戦略3 職員と市役所の広報広聴力強化
- ・令和2年度から令和5年度の4年間、本懇談会などの開催により幅広く市民の意見を聴取し、具体的な取組に反映していく。

(進行役)

- ・事務局からの説明等を踏まえて、御意見、疑問点等を伺いたい。

(参加者)

- ・広報誌は最近見やすくなった。  
他市では取り上げていないような情報も取り上げている。
- ・市勢要覧は無償配布しているが、有料での販売でもよい。

(参加者)

- ・フェイスブックは周りで使っている人がいない。  
ツイッターなら使っている。

(参加者)

- ・市民委員会でも広報誌を出すが、若い人は読まない。
- ・読んでくれている人でも、詳しく書いている文章は読まない。
- ・内容を厚くしたいのはわかるが、盛りだくさんにし過ぎず、デザイン的に見やすいものがいい。

(参加者)

- ・私の周りでもフェイスブックの利用者は少ない。  
インスタグラムやツイッターで発信した方がいいと思う。

(参加者)

- ・スマホを使っている人はSNSを見れるが、そうではない世代には印刷物が必要。
- ・暮らしの便利帳などは便利だと思うが、市民にあまり知られていないのではないか。
- ・暮らしの便利帳と市勢要覧は市外の会社が作成している。  
地元の印刷会社が作ったほうがよい。
- ・広告収入で作成しているのはわかるが、市が費用を出してでも地元企業に任せたい。

(参加者)

- ・20～30代はフェイスブックを使用していない人が多い。  
40代もインスタグラムに移行している。
- ・中高年の男性にはフェイスブックやツイッター、女性にはインスタグラムなど、世代によって媒体を使い分けたらよいと思う。

- ・旭川市のインスタグラムのフォロワー数はかなり少ない。

(参加者)

- ・若い頃、興味はなかったが、妊娠してから市の情報を収集するようになった。
- ・旭川に魅力はたくさんあるが、「もの」よりも作っている人にスポットを当てて紹介すると若い世代にも刺さると思う。

(参加者)

- ・他の自治体より発信回数が多いし、広報誌も面白いと思うが、なかなか内容が伝わっていないことが多い。
- ・難しい行政用語で伝えることが多いので、わかりやすく優しいキャッチーな言葉を使うといいと思う。

(参加者)

- ・広報誌がフルカラーになり、QRコードを使い、見やすくなった。
- ・小学校の教科書にもQRコードが掲載されていて、リンク先で動画を視聴できる。  
広報誌も文章だけの説明ではなく、動画コンテンツを利用したほうがわかりやすいのではないか。
- ・広報誌を電子書籍で読めることも市民は知らないと思う。  
いいものを作っているのに市民に伝わっていないのは、何もやっていないのと同じ。

#### (4) 議題4 「若者世代を対象とした情報発信及び意見聴取について」

(進行役)

- ・次に、議題4 若者世代を対象とした情報発信及び意見聴取について、事務局から説明する。

(事務局)

資料9の課題、資料10の要領について説明。

- ・LINEの登録者数が9,879人、Instagramが2,118人。
- ・成人式でのPR活動として、平成31年はLINE、令和2年はInstagram。
- ・意見聴取として、市長と若い世代とのまちづくり対話集会を実施し、平成30年度は1回、令和元年度は7回開催。
- ・市民アンケートについて、令和元年度からWEB回答を導入し、全体及び若い世代の回答率が上昇。
- ・情報発信については、先ほど意見のあったLINEやInstagramを活用したいと思う。
- ・意見聴取については、若い世代との対話集会を開催していきたい。

(進行役)

- ・事務局からの説明等を踏まえて、御意見、疑問点等を伺いたい。

(参加者)

- ・今月開催された対話集会の条件が自分に合っておらず参加できなかった。

開催するなら条件なしにしてほしい。

(事務局)

- ・今回は、市内出身者の方だけではなく、市外出身者の方の意見も聞くことにした。  
多くの人に参加してほしかったが、新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、人数を制限せざるを得なかった。

(参加者)

- ・市民に意見を聞いているということを知らなかった。  
まだ知らない人もたくさんいるのではないかと思う。  
広く周知する方法として、LINEを使うのがいいのではないか。

(参加者)

- ・若い世代とはどの年代なのか。  
10代と20代では使う媒体が違ふし、30代も若い世代なのか。

(事務局)

- ・SNSの効果的な利用のために、資料10のとおり、実態調査を行う予定である。

(参加者)

- ・なぜ若い世代を対象とした情報発信をするのか。  
若い世代が行政に興味を持たないからかもしれないが、高齢者も大切だと思う。

(事務局)

- ・40～50代の現役世代や高齢者も手厚くすべき点は御指摘の通り。  
・これからの旭川を担う若い世代が市政に興味・関心を持ち、積極的にまちづくりに参加するよう、若い世代を対象としている。

## (5) 議題5 「令和2年度第2回の議事について」

(進行役)

- ・議題5 令和2年度第2回の議事について、事務局から説明する。

(事務局)

- ・本日説明したプランや課題について、皆さんからもう一度意見をいただきたい。  
・旭川市暮らしの便利帳について、御意見をいただきたい。  
・資料10の旭川市SNS登録者実態調査の結果について報告した上、討議したい。

## 3 閉会

(進行役)

- ・以上で会議を終了する。

以 上